令和４年度　教育委員会関係会議の開催状況

藤里町教育委員会委員名簿（令和４年度在籍）

職　名	氏　名
教育長職務代理	袴田　俊英（R4.9.30 まで） 加藤　康代（R4.10.1 から）
委　員	水戸　一美
委　員	鎌田　孝人
教育長	金野　尚人

・教育委員会　　１２回

令和４年度　教育委員会関係会議の審議状況

毎月初旬を目途に定例教育委員会を開催。規則・要綱及び条例等の制定並びに改廃の審議や、教育関係予算、附属機関の委員の委嘱、行事の後援等について審議を行った。

令和４年度　教育委員会審議案件等一覧

４月定例教育委員会（開催日：令和４年４月６日）

番　号	案　　件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・藤里町教育委員会職員の異動について
・藤里町小・中学校教職員の異動について
・第９次藤里町社会教育中期計画について
・義務教育通信（第８号）について
・令和３年度藤里町スポーツ文化栄誉賞受賞候補者の選考審議（追加分）について

5月定例教育委員会（開催日：令和4年5月12日）

番　号	案　　件
議案第8号	藤里町立学校教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について
議案第9号	藤里町奨学会評議員の委嘱について
議案第10号	藤里町学校給食センター運営委員の委嘱について
議案第11号	藤里町社会教育委員・藤里町公民館運営審議委員・藤里町三世代交流館運営委員の委嘱について
議案第12号	藤里町文化財保護審議委員の任命について
議案第13号	藤里町教育支援委員の任命について
議案第14号	藤里町生涯学習奨励員連絡協議会委員の委嘱について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・行事の後援について

6月定例教育委員会（開催日：令和4年6月9日）

番　号	案　　件
議案第15号	藤里町立小中学校閉校等記念事業補助金交付要綱の制定について
議案第16号	藤里町一般会計（教育委員会分）補正予算について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・行事の後援について

7月定例教育委員会（開催日：令和4年7月6日）

番　号	案　　件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・行事の後援について
・教科書採択について

8月定例教育委員会（開催日：令和4年8月4日）

番　号	案　　件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・規則の改正について
・行事の後援について

9月定例教育委員会（開催日：令和4年9月1日）

番　号	案　　件
議案第17号	藤里町一般会計（教育委員会分）補正予算について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・規則の改正について
・行事の後援について

10月定例教育委員会（開催日：令和4年10月6日）

番　号	案　　件
議案第18号	藤里町教育委員会教育長の職務代理者の指名について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について

11 月定例教育委員会（開催日：令和 4 年 11 月 11 日）

番　号	案　　件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会の結果について

12 月定例教育委員会（開催日：令和 4 年 12 月 1 日）

番　号	案　　件
議案第 19 号	藤里町一般会計（教育委員会分）補正予算について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について

1 月定例教育委員会（開催日：令和 5 年 1 月 19 日）

番　号	案　　件
議案第 1 号	令和５年度藤里町一般会計（教育委員会分）当初予算について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・行事の後援について

2 月定例教育委員会（開催日：令和 5 年 2 月 2 日）

番　号	案　　件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・令和４年度藤里町スポーツ文化栄誉賞授賞候補者の選考審議について

3月定例教育委員会（開催日：令和5年3月14日）

番　号	案　　件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・藤里町一般会計（教育委員会分）補正予算について
・規則の改正について

教育委員会議以外の活動状況

◎学校等教育施設及び社会教育施設の訪問

保育園、幼稚園、小・中学校等の各施設を訪問し、学校経営方針の説明や施設の管理状況などを確認した。

◎各種行事

新型コロナウイルス感染予防のため、学校毎の各種行事には参加することがほとんどできなかったが、小・中学校の入学式・卒業式には委員各１名が参加した。また、３年ぶりにスポーツ・文化栄誉賞の授与式を通常開催した。

教育委員会関係事業の実施状況及び評価

１　藤里町の学校教育

保育や教育の多様化及び施設の老朽化等に対応するため、幼児教育並びに小・中学校教育活動の推進のため、環境の整備を図った。

（１）保育・教育施設の整備充実

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①施設等整備事業（保、幼、小、中、給食センター）	【保育園】 調理室床腐食部修繕、外壁サイディング修繕、玄関タイル修繕、風除室扉修繕、蛇口修繕、汚水桝蓋補修、玄関ホールLED照明部分改修、給食管理ソフト更新、施設周辺の草刈りを行い園内外の環境整備を図った。	A

	【幼稚園】 テラス柵補修、幼児用トイレ修繕、電気引き込み線修繕、避難誘導灯及び点灯管交換、年少児保育室コンセント修繕、非常用発電機セルモーター修繕を行い、園内外の環境整備を図った。 【小学校】 玄関前投光器の補修、体育館排水補修、体育館女子トイレ便器漏水修理、野球部グラウンド物置天井雨漏り補修などの修繕を行い、児童の安全・安心な学習環境の整備に努めた。また、トイレ清掃、教室等ワックス作業を行った。 令和５年４月の義務教育学校開校に向け、令和４年度は第三期工事として、現校舎の南側(主に低学年棟)の改築工事を実施した。体育館は床板を張替えしたほか、照明器具の LED 化、暖房機器等を整備した。また、古いプールを取壊し、新たに後期課程の生徒も使用できる深さのプール及び未就学児も利用できるプールを新設し、併せて更衣室・トイレ・シャワー室を含む管理棟を整備した。グラウンド脇の相撲場は経年劣化による老朽化のため取り壊し、跡地は学園の駐車場として整備した。 【中学校】 理科室の水道栓補修、校舎水道管の補修、校舎外壁時計の修繕などを行い、生徒の安全・安心な学習環境の整備に努めたほか、窓ガラス清掃、暖房機器の清掃点検などを行い、校内の環境改善を図った。 【給食センター】 床面亀裂補修、室外機ガス漏れ修繕、食器洗浄器防水カーテン交換、冷凍冷蔵庫ファンモーター交換、残留塩素計センサー交換、パッケージエアコン室外機修繕、スチームコンベクションオーブン部品交換、厨房機器点検・分解清掃等を行い、調理に影響が生じないよう、施設の維持に係る修繕作業等職員からの依頼に早急に対処した。	
②備品購入事業（保、幼、小、中、給食センター）	【保育園】 故障した冷凍庫及び冷凍冷蔵庫を購入。また備品ではないが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、国庫補助金等を活用し、ハンドソープや手指消毒液、玩具消毒液などを購入し環境整備を図った。	A

	【幼稚園】 　破損若しくは故障していた、ままごと用テーブル、キッチンセット、CD プレイヤー、パラソル、簡易テント、マット、キーボード、暖房機を購入。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、国庫補助金等を活用し、ハンドソープや手指消毒液、玩具消毒液などを購入し環境整備を図った。 【小学校】 　義務教育学校開校に向け、児童・生徒用の机・椅子、教師用の机・椅子等を更新したほか、新たな校舎に対応した備品関係を整備し、令和５年度からの教育環境整備の充実を図った。 【中学校】 　古くなっていた音楽機器(ハーモニーディレクター、メトロノーム)、体育用具(セーフティマット)を購入したほか、ICT 関係機器のスピーカーフォンを購入するなどして授業に支障が無いよう配慮した。 【給食センター】 　故障及び劣化していた、洗濯機及び掃除機、事務室冷凍冷蔵庫、複合機（FAX)、カラープリンターを購入し環境整備を図った。	

（２）子育て支援の充実

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①子育て支援センター事業</td><td>町の健診に出向いて保護者・保健師・園との情報共有等を行ったほか、産後２ヶ月の家庭を訪問するなど子育て家庭の支援を行った。
０～２歳児の遊びのひろば「ばんぶ～ひろば」は、昨年は新型コロナウイルス感染症に伴い、毎月開催はできなかったが、今年度は感染症対策を実施し、毎月開催することとができ、子育て中の親子の交流を生むことができた。
また、講師を招いて子育て支援講座を開催するなど育児支援の充実を図った。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>②子ども・子育て支援事業</td><td>子ども・子育て支援法等に基づく「藤里町子ども・子育て支援事業計画」を基に、子育て支援に関する事業を展開した。また、「藤里町子ども・子育て会議」を開催し子育て支援の現状や事業実績等について協議を行った。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>③放課後児童健全育成事業</td><td>保護者が就労等により日中家庭にいない小学校低学年（１年生～３年生）を対象に、放課後の適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。
<table>
<tr><th>登録児童数（月により変動）</th><th>利用日数</th></tr>
<tr><td>令和３年度　31～34 名</td><td>285 日</td></tr>
<tr><td>令和４年度　28～31 名</td><td>254 日</td></tr>
</table></td><td>A</td></tr>
</table>

（３）義務教育学校のための重点施策

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①小中一貫教育推進委員会</td><td>藤里小・中学校の教職員で組織。令和４年度は当初の計画（平成30年度～令和３年度）に含まれていなかったが、令和５年度義務教育学校開校に向け継続し、４年度を最終年度とした。
推進委員会においては、町の目指す小中一貫教育について、趣旨や意義を共通理解するとともに、これまでの積み重ねを大切にしてくことを確認した。また、組織を校務分掌（運営部、教務部、研修部、生徒指導部、事務部、特別活動部、学習指導部、健康安全部、管理部）に合わせて再編するとともに、より実務的な内容で協議を重ね、義務教育学校開校に向けた準備を進めた。また、４月からの新体制をスムーズにスタートすることができるように、提案資料作成に向けた役割分担と提案資料の吟味も行った。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>②第１次外国語教育推進事業</td><td>児童生徒の英語力の向上を図るため、藤里中生が英検を、藤里小６年生が英検ＥＳＧを受検し、その受検料を町が１回分負担した。
○英検（中１～中３）令和４年度の級取得者及び取得率
<table>
<tr><th>級
学年</th><th>５級</th><th>４級</th><th>３級</th><th>準２級</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>中１
19名</td><td>10名
53%</td><td>1名
5%</td><td>2名
10%</td><td>0名
0%</td><td>13名
68%</td></tr>
<tr><td>中２
10名</td><td>1名
10%
(30%)</td><td>2名
20%
(60%)</td><td>6名
60%
(0%)</td><td>0名
0%
(0%)</td><td>9名
90%
(90%)</td></tr>
<tr><td>中３
25名</td><td>3名
12%
(29%)</td><td>11名
44%
(54%)</td><td>8名
32%
(0%)</td><td>0名
0%
(0%)</td><td>22名
88%
(82%)</td></tr>
</table>
※（　）内は令和３年度取得率
※中１は小６のときに英検ＥＳＧを受験しているので昨年度の比較値無し。
○英検ＥＳＧ（小６）令和４年度のＣＳＥスコア及び総合レベル
・受検者数14名
・ＣＳＥスコア　団体平均総合435
＜リスニング212　リーディング224＞
・総合レベル　「よくできました」</td><td>A</td></tr>
</table>

③外国語指導助手招致事業	藤里小・藤里中の外国語指導のほか、幼稚園を訪問して交流を図った。また、夏休み期間は、国際交流員（ＣＩＲ）が講師を務める町営英語塾に、補助として参加した。 【任用期間：平成 28 年 8 月 1 日～令和 4 年 7 月 31 日】	A

（４）特別支援教育の充実

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①各校等取り組みへの支援	【小・中学校】 特別支援教育支援員の能力向上のため、各種研修への参加を推奨した。	A
②特別支援教育支援員・生活支援員の配置	【小・中学校】 幼稚園及び小・中学校での生活において支援を必要とする児童生徒に対して、一定数の特別支援教育支援員・生活支援員を配置することで、個人毎の異なる性格や状況を把握しながら、保護者からの要望に配慮した細やかな支援体制を実施した。 配置箇所：人数 幼稚園：3 名 小学校：5 名 中学校：1 名	A

（５）課外・校外活動の充実

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①各校等取り組みへの支援</td><td>校外活動、宿泊体験、修学旅行等に対して交通手段の確保と、費用の一部を補てんするなどの支援を行った。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>②児童生徒派遣費補助金事業</td><td>中学校部活動における各種大会に伴う生徒及び指導者の交通費、宿泊費等経費を援助し、保護者等の負担軽減を図った。
交通費については、校外活動等を含めて町民バス、福祉バス、町公用車の使用を優先的に行い、確保できない場合に限り、民間事業者からの借入としている。
<table><tr><th>令和４年度活動一覧</th></tr><tr><td>野球部</td></tr><tr><td>バスケットボール部</td></tr><tr><td>卓球部</td></tr><tr><td>吹奏楽部</td></tr><tr><td>スキー活動</td></tr></table>※陸上競技についてはスポ少活動のため、藤里町スポーツ少年団が補助を行っている。</td><td>A</td></tr>
</table>

（６）学校給食

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①学校給食センター事業</td><td>町内農業者、農業協同組合の協力のもと、学校給食に地元産（藤里町若しくは能代市山本郡内）の食材（米、あきた牛等）を利用するなど、地産地消の推進を図りながら地域に根付いた事業を実施した。</td><td>A</td></tr>
</table>

2　藤里町の社会教育

（1）乳幼児教育

ア　重点目標

（1）子育てに関する相談の対応、情報提供に努め、新たな学習機会を創出する。

（2）関連他部局、関連諸団体との連絡・調整の整備に努め、連携を図る。

イ　令和４年度の重点施策

・学習情報提供の充実

・子育て支援の充実

ウ　事業及び評価

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①家庭教育相談</td><td>令和４年度内の教育委員会への相談実績はなかった。
日常の保育や健診等で、町保健師との面談や幼保職員との面談、普段の保護者との会話等、あらゆる面で相談がされている。保護者の立場としては、専門的な相談が可能な保健師や、普段から子どもを保育している幼保職員へのほうが相談しやすい環境であるため、教委は子育て「支援制度」の相談への対応に力を入れる。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>②家庭教育関係資料の収集・整理</td><td>図書室の司書と連携を取りながら、子育てに関する資料の収集・整理に努めた。また、各種企画展等の機会を利用して、資料を手にとってもらいやすい環境を整えた。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>③家庭教育学級の内容の検討</td><td>父の日に合わせて、幼稚園に通う児童とその保護者を対象として、親子遊びの体験と子育てに関する講話を行う「家庭教育学級」を開催しているが、令和４年度は中止となった。
<table>
<tr><th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者</th></tr>
<tr><td>令和３年度
6/13（日）</td><td>親子でエアートランポリン、ホップ、ステップ、ジャンプ！</td><td>74名</td></tr>
<tr><td>令和４年度</td><td>※新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を中止。</td><td>－ 名</td></tr>
</table></td><td>B</td></tr>
<tr><td>④子育て教養講座の検討</td><td>現在のところ、育児サークル開設の必要性は低いとの判断。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>⑤講習会・セミナー等への参加の奨励</td><td>県などで主催する各種講習会・セミナー等の情報について、随時対象となる町民や団体に広報等を通じて情報提供を行った。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>⑥関連他部局・関係諸団体との連携強化</td><td>共催事業の実施等、関連他部局・諸団体とは、密に連絡をとり情報共有及び連携に努めた。</td><td>B</td></tr>
</table>

⑦三世代交流館図書室	親子で本にふれあう機会として、生後９ヶ月の乳幼児を持つ保護者を対象とした、ブックスタート事業を実施し、合わせて２歳となった時点で同事業のフォローアップを行っている。	A

（２）在学青少年教育

ア　重点目標

（１）子どもの居場所づくりや地域住民の交流の場を充実させる。

（２）情報提供体制の整備に努め、奉仕活動や地域活動への参加促進を図る。

イ　令和４年度の重点施策

・子育て支援の充実

・ふるさとの歴史に誇りをもてる学習機会の提供

ウ　事業及び評価

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①学校休業日・放課後活動事業</td><td>夏休みを中心とした、少年教室における生涯学習事業（芸術文化、郷土芸能）を実施したほか、長期休業中において放課後児童クラブからの依頼により、生涯学習奨励員が訪問し読み聞かせや折り紙遊びなどの活動を行った。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>②地域と学校の連携・協働</td><td>※後述の「町づくり学」を参照</td><td>A</td></tr>
<tr><td>③連合ＰＴＡの活動の支援</td><td>青少年育成藤里町町民会議として活動を行い、子どもたちの健全育成ならびに福祉の増進、社会教育、家庭教育の充実について可能な支援を講じた。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>④ボランティア活動の奨励</td><td>ボランティアについては、既に学校や教委とのネットワークが機能しており、特に意識をしなくても、これまでどおり活動を支援し、今後も奨励していく体制がある。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>⑤町民大会への受け入れ</td><td>町広報、ホームページ等で、大会参加、受け入れを周知している。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>⑥少年教室</td><td>例年同様、夏休み期間を利用して、小学校３年～中学生を対象とした「少年教室」を開催した。
前年度のアンケート結果をもとに、参加したい活動を２つまで選べるもの（ただし、郷土芸能から２つ選択は不可）とした。今後も子どもたちの意見を共有し、より充実した体験活動ができる場を提供していく。
<table>
<tr><th>月日</th><th>内容等</th><th>延参加者</th></tr>
<tr><td>令和３年度
7/21（水）
～11/6(土)</td><td>郷土芸能、自然、将棋等
12 コース</td><td>105 名</td></tr>
<tr><td>令和４年度
7/22（金）
～10/29(土)</td><td>郷土芸能、自然、将棋等
12 コース</td><td>134 名</td></tr>
</table></td><td>A</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>⑦三世代交流館
図書室</td>
<td>
小学校での読み聞かせ事業等を継続して実施しているほか、本を気軽に手に取ってもらえるよう、町内の事業所等、町民が集まる施設に移動文庫を設置し、３ヵ月毎に内容を入れ替えている。
令和２年度から開始した「あさとしょ（早朝開館：8:00～10:00)」を継続して開室。また、おはなし会やセット図書の貸出等を実施している。
<table>
<tr><td colspan="2"></td><td>令和３年度</td><td>令和４年度</td></tr>
<tr><td colspan="2">貸出冊数</td><td>6,487 冊</td><td>7,323 冊</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>うち児童</td><td>979 冊</td><td>1,342 冊</td></tr>
<tr><td>うち団体</td><td>1,912 冊</td><td>2,541 冊</td></tr>
<tr><td colspan="2">館内利用者数</td><td>1,606 名</td><td>1,716 名</td></tr>
</table>
※「館内利用者」とは、貸出等はせず、学習・読書のために入室した利用者

○移動文庫設置施設数
<table>
<tr><td>年度</td><td>設置数</td></tr>
<tr><td>令和３年度</td><td>3 施設</td></tr>
<tr><td>令和４年度</td><td>4 施設</td></tr>
</table>

○あさとしょ利用者数
<table>
<tr><td></td><td>令和３年度</td><td>令和４年度</td></tr>
<tr><td>４月</td><td>2 名</td><td>1 名</td></tr>
<tr><td>５月</td><td></td><td>1 名</td></tr>
<tr><td>６月</td><td>2 名</td><td>6 名</td></tr>
<tr><td>７月</td><td>1 名</td><td>3 名</td></tr>
<tr><td>８月</td><td>0 名</td><td>1 名</td></tr>
<tr><td>９月</td><td>5 名</td><td>2 名</td></tr>
<tr><td>１０月</td><td>3 名</td><td>1 名</td></tr>
<tr><td>１１月</td><td>2 名</td><td>2 名</td></tr>
<tr><td>１２月</td><td>3 名</td><td>0 名</td></tr>
<tr><td>１月</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>２月</td><td>0 名</td><td>1 名</td></tr>
<tr><td>３月</td><td>2 名</td><td>0 名</td></tr>
<tr><td>計</td><td>20 名</td><td>18 名</td></tr>
</table>
</td>
<td>A</td>
</tr>
</table>

○イベントの開催

（令和３年度）

実施月	内　容　等	参加者
４月	ぬいぐるみおとまり会	16 名
５月	図書室子供の日イベント	14 名
６月	工作イベント「万華鏡を作ろう」	5 名
１０月	図書室ハロウィーン！！	29 名
１１月	幼稚園年長児「図書室探検」	15 名
１２月	ペーパーリースを作ろう	10 名

（計 89 名；前年度 111 名）

（令和４年度）

実施月	内　容　等	参加者
４月	ぬいぐるみおとまり会	16 名
６月	かざぐるまこうさくとおはなしの会	10 名
８月	「こわ～いおはなしスタンプラリー」　※中止	－ 名
１０・１１月	「おいしい秋　読書スタンプラリー」	完走証 8 名
１１月	ストリングアート工作とミニおはなし会	5 名
１２月	おりがみ工作「お正月かざり」とブックトーク ※同じ内容で２回開催	15 名

（計 54 名；前年度 89 名）

（３）青年教育

ア　重点目標

（１）青年の意識・要求に応じた学習機会の提供に努め、参加者の増加を図る。

（２）団体活動、学習グループづくりの支援に努め、自主的・自発的活動の促進を図る。

イ　令和４年度の重点施策

・学習情報提供の充実

・地区活動の支援

ウ　事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①青年の意識調査	成人式出席者を対象に意識調査（アンケート）を実施した。アンケートの内容については、商工観光課、総務課などと協議の上で作成した。	A
②町民大会の受け入れ	町広報、ホームページ等で、大会参加、受け入れを周知している。	A
③講習会・セミナー等への参加の推奨	町、県主催事業について、町広報、ホームページ等で、大会参加、受け入れを周知している。 前年度参加者へ通知している。	A
④自主活動グループの育成	既存の団体に対する協力や、各種活動に対する支援はこれまでどおり実施しているが、令和４年度の新規グループの設立はなかった。 【課題】後継者の確保・育成が難航している団体もある。	B
⑤地域活動への参加の奨励	各地区活動推進協議会と連携し、補助金の交付や運営面での支援などを実施し、地域活動の活性化に努めた。	A
⑥成人式	成人式実行委員会を設置し、祝賀会等の運営方針については新成人の意見を取り入れながら決定するなど、最終的に自主運営を目指した体制作りを進めている。	A

（４）成人教育

ア　重点目標

（１）情報提供体制の強化に努め、新規学習者の参加促進を図る。

（２）学習者の多様なニーズに対応した学習機会の拡充に努め、学習者の増加を図る。

イ　令和４年度の重点施策

・学習情報提供の充実

・ふるさとの歴史に誇りをもてる学習機会の提供

・生涯学習、芸術文化によって育む豊かな心

ウ　事業及び評価

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①教育相談活動</td><td>ニーズに応じて、随時対処している。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>②自主活動グループへの支援</td><td>既存団体は、従来どおりの支援を行っている。
新規のグループの設立はないものの、今後も随時対処していく。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>③講習会・セミナー等への参加の奨励</td><td>町、県主催事業について、町広報、ホームページ等で、大会参加、受け入れを周知している。
前年度参加者へ通知している。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>④指導者の育成と発掘</td><td>指導者の育成は、循環させることが重要で、なにも行動をおこさなければ、高齢化のみ進行する。少年教室の閉校式等で、主に中学生に対して後継者が不足している現状を伝えるなど、後の指導者への動機付けを実施していきたい。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>⑤新規講座・教室の実施</td><td>新たな学びの機会として、「大人のスキルアップ講座」を開催した。
<table>
<tr><th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者</th></tr>
<tr><td>3/15（水）</td><td>知っておきたいマネー講座</td><td>13 名</td></tr>
</table></td><td>A</td></tr>
</table>

（５）高齢者教育

ア　重点目標

（１）自主活動グループの育成と活動に対する支援に努め、自主的学習の拡充を図る。

（２）異世代間交流事業の推進に努め、学習者の活用の促進を図る。

イ　令和４年度の重点施策

・学習情報提供の充実

・ふるさとの歴史に誇りをもてる学習機会の提供

・生涯学習、芸術文化によって育む豊かな心

ウ　事業及び評価

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①教育相談活動</td><td>ニーズに応じて、随時対処している。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>②町民大会への受け入れ</td><td>ふじこま大学を中心に、活動の充実を図ってきた。
今後も継続し、高齢者教育を充実したい。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>③地域活動の参加の奨励</td><td>主に各地区活動推進協議会の活動支援を通して、地域活動の一層の活性化に努めた。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>④関連他部局・関係諸団体との連携</td><td>町民課とふじこま大学の教養講座で連携してきた。
健康・福祉関連の取り組みは、町民課と継続して連携していきたいと考えており、また、新規団体との連携も図ってきたい。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>⑤ふじこま大学</td><td>コロナ禍ではあったが、例年同様、各種教養講座や発表会を開催した。年々受講者が減少傾向にあり、また、講師の確保についても町内だけでは難しくなっていることから、新規参加者の勧誘、町外の講師起用について、これまで以上に対応を検討していく必要があると考えている。
<table>
<tr><th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者</th></tr>
<tr><td>令和３年度
5/7（金）
～11/5（金）</td><td>書道、茶道、切り絵等 10 コースのほか、年 2 回の教養講座を実施
※５月は開校式のみ、各コースは６月から実施。</td><td>46 名</td></tr>
<tr><td>令和４年度
5/9（月）
～11/4（金）</td><td>書道、茶道、切り絵等 10 コースのほか、年 4 回の教養講座を実施</td><td>38 名</td></tr>
</table></td><td>B</td></tr>
</table>

（６）社会体育

ア　重点目標

（１）スポーツに楽しむ場や機会の提供に努め、スポーツ活動への参加拡大を図る。

（２）スポーツ団体および指導者の育成に努め、自主的活動の促進を図る。

イ　令和４年度の重点施策

・スポーツを通じた、交流の場の創出・健康づくり

・スポーツを楽しむ環境づくり

・子どものスポーツ活動の支援

ウ　事業及び評価

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①効果的な情報提供</td><td>チラシ・ポスターやホームページ、町広報など、様々な媒体でスポーツに関する行事等の情報提供を行った。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>②学習機会の提供</td><td>事業計画どおりに家庭バレーボール大会等の町民向けスポーツイベントを実施し、町民が気軽にスポーツに親しむことのできる機会を提供した。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>③自主活動グループの支援並びに主催事業の奨励</td><td>例年同様、体育施設の整備や、スポーツ協会への支援を通して、各種スポーツ団体を支援している。また、主にスポーツ協会加盟団体主催のスポーツ大会等への後援も行っているが、会員の減少等に伴い行事の開催が難しい団体も出てきている。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>④町民各世代の社会体育の推進</td><td>チャレンジデーや駅伝・マラソン大会など、運動のきっかけづくりとして各種事業を実施。例年の事業においては、高齢者に比べて働き盛りの世代の運動実施率が低い傾向にあることが課題か。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>⑤スポーツ推進委員</td><td>各種スポーツイベント時に、競技の指導や補助を担当している。また、委員自身の技術向上のため各種研修等への積極的な参加を推奨している。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>⑥関連他部局・関係諸団体との連携</td><td>スポーツ協会・総合型スポーツクラブ・スポーツ少年団等、各種スポーツ団体の活動と連携して、各世代の町民がスポーツに取り組みやすい体制を町全体として作っている。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>⑦各種スポーツ教室の実施</td><td>藤里スキークラブと連携して、町営スキー場においてスキー教室を実施。
<table>
<tr><th>月日</th><th>内容等</th><th>延参加者</th></tr>
<tr><td>令和３年度</td><td>コロナ禍により実施なし</td><td>－ 名</td></tr>
<tr><td>令和４年度
1/21（土）
～1/29（日）</td><td>スキー教室
（土日のみ４回開催）</td><td>81 名</td></tr>
</table></td><td>A</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>⑧各種スポーツ大会の実施</td>
<td>年間を通して様々なスポーツ大会を開催したほか、町民のスポーツを通じた交流および社会体育の推進を目指した活動を行った。
〇教育委員会主催事業および主要な参加行事等
<table>
<tr><th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者
（前年度）</th></tr>
<tr><td>5/25（水）</td><td>チャレンジデー2022</td><td>2,207 名
（2,002 名）</td></tr>
<tr><td>6/21（火）</td><td>全町婦人家庭バレーボール大会</td><td>20 名
（23 名）</td></tr>
<tr><td>10/2（日）</td><td>駅伝・マラソン大会</td><td>延べ 126 名
（延べ 127 名）</td></tr>
<tr><td>10/16（日）</td><td>秋田 25 市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！　出場辞退（新型コロナ感染拡大）</td><td>選手　－ 名
（選手 － 名）</td></tr>
<tr><td>11/16（水）</td><td>家庭バレーボール大会</td><td>26 名
（30 名）</td></tr>
<tr><td>1/24（火）
1/31（火）</td><td>ナイター家庭バレーボール大会</td><td>30 名
延べ 55 名
（　－ 名）</td></tr>
</table>
※「　－　名」は、中止もしくは実績なしのため</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>⑨ふじさとスポーツクラブに対する支援</td>
<td>藤里町の総合型スポーツクラブとして設立され、年間を通して笑顔塾（軽運動）、ラージボール卓球、ユニカールの活動を行っている。
教育委員会では、主に補助金等を通じて活動を支援しているほか、通年での活動や各種交流大会の運営等にも協力している。
笑顔塾部門において、講師を招いた健康教室を実施した。
（コロナ禍により事業は例年より一部変更して実施、交流大会は中止）</td>
<td>A</td>
</tr>
</table>

（７）公民館活動

ア　重点目標

（１）各種事業の内容の工夫に努め、町民参加の増加を図る。

（２）地区活動推進協議会を支援し、各々の特性を生かした地域づくり事業の充実に努め、地域の活性化を図る。

イ　令和４年度の重点施策

・生涯学習、芸術文化によって育む豊かな心

・芸術・文化活動等指導者の育成と伝統芸能の継承

ウ　事業及び評価

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①町民大会への受け入れ</td><td>町広報、ホームページ等で、大会参加、受け入れを周知している。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>②地域活動の参加の奨励</td><td>各地区活動推進協議会と連携し、補助金の交付や運営面での支援などを通して、地域活動の活性化に努めた。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>③公民館の施設及び設備の充実</td><td>開発センターは、老朽化が進んでいるが、年次計画を立て修繕を実施している。但し、財政面から、すぐには実現しない項目もあることから、引き続き要望していく。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>④関連他部局・関係諸団体との連携</td><td>公民館事業の講師面で、芸文協団体やスポーツ推進委員と連携をして活動している。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>⑤公民館サークルの活動支援</td><td>公民館において活動しているサークルに対し、活動費を補助している。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>⑥公民館事業の実施</td><td>公民館の主催事業としては、主に「少年教室」「書初め大会」「和友教室」を開催した。
引き続き、利用者のニーズに合わせたメニューの設定を検討していく必要がある。
<table>
<tr><th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者
（前年度）</th></tr>
<tr><td>7/22（金）
～10/29(土)</td><td>少年教室</td><td>102 名
(115 名)</td></tr>
<tr><td>1/6（金）</td><td>書初め大会</td><td>8 名
(20 名)</td></tr>
<tr><td>1/11（水）
～3/9(木)</td><td>和友教室</td><td>13 名
(19 名)</td></tr>
</table></td><td>A</td></tr>
</table>

（８）芸術・文化活動

ア　重点目標

（１）情報提供に努め、生涯学習として活動の促進を図る。

（２）講座、教室などの事業の充実に努め、新規参加者（特に若年層）の増加を図る。

（３）団体の育成と支援の継続に努め、自主活動のさらなる促進を図る。

イ　令和４年度の重点施策

・学習情報提供の充実

・町民の知識視野の拡大

・生涯学習、芸術文化によって育む豊かな心

ウ　事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①地域と学校の連携・協働	８月～１０月まで、藤小正課クラブで、大正琴、切り絵を実施し、芸文協団体と在学青少年の交流機会を深めた。	A
②町民祭	コロナ禍により、１０月２９日（土）の１日限りの開催となった。体験コーナーなどは昨年度に引き続き中止とし、学習成果の展示及び町民芸能発表会を実施した。	A
③文化講演会・芸術鑑賞会	１１月９日（水）、春風亭一之輔氏による芸術鑑賞会（落語独演会）を実施。 町内外約１７０名の来場があり、大盛況で終了した。	A
④新規講座・教室の実施	近年は、新たな指導者の確保が難しくなっており、また、現任の指導者についても、個々の都合もあって平日での活動が出来ない状況となっている。	B

（９）文化財保護・郷土芸能継承

ア　重点目標

（１）文化財の調査・保護に努め、学習資料として活用促進を図る。

（２）郷土芸能継承事業の充実に努め、継承者の増加を図る。

（３）文化財・郷土芸能を学ぶ機会や場の拡充に努め、町民の興味・関心の高揚を図る。

イ　令和４年度の重点施策

・芸術・文化活動等指導者の育成と伝統芸能の継承

・文化財の調査・保護の推進

・文化財に触れ合う機会の創出

・文化・伝統芸能施設の充実

ウ　事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①文化財の保護	県指定天然記念物である欅等の樹勢診断を専門家に依頼するなどして、保護に努めた。 令和５年２月に「文化財だより」を発行した。	A
②自主活動グループの奨励と活動の支援	町内の自主活動グループと連携し、町の公民館事業「少年教室」に「郷土史コース」（令和元年度～）を設置した。	B
③芸能保存団体の活動の支援	藤里町芸術文化協会への支援（補助金交付等）のほか、各種芸能団体へ文化財の保存及び伝承のための支援を行っている。 また、国・県や民間団体による補助金の情報を各芸能団体に対して提供している。	A
④町民祭での発表・展示の奨励	新型コロナの影響により、展示をメインとし体験コーナーなどは中止とした。芸能発表については、コロナ禍前に近い形で実施したが、少子化に伴い出演者不足が課題となっている団体もある。	A
⑤歴史民俗資料館の活用	前年度に引き続き、白神山地世界遺産センター藤里館での出張展示を行い、好評を得た。	A
⑥切り絵原画の保存と活用	例年どおり、白神山地世界遺産センター藤里館で切り絵展を開催した。	A

（１０）町づくり学

ア　重点目標

（１）年代に応じた系統的な学習計画を策定し、一生を通じての町づくり学の推進を図る。

（２）情報提供体制の整備に努め、町民の興味・関心の高揚を図る。

（３）学習連携を重視した事業の展開に努める。

イ　令和４年度の重点施策

・「学校・家庭・地域」の連携と協議による人づくり・きずなづくり

・地域・学校が互いに育む関係性の構築

ウ　事業及び評価

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①町づくり学の内容の検討</td><td>小・中学校で実施するふるさとキャリア教育「町づくり学」について、講師の紹介等支援を行った。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>②町づくり学事業の充実</td><td>町内の団体・企業等の協力も得ながら、充実した内容を設定できるよう努めた。
小・中学校における町づくり学はふるさとキャリア教育の一環として定着してきているが、青年期以降も継続して学習できる場の提供が必要である。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>③資料の教材化と活用</td><td>「町づくり学」を推進するため、教材等の洗い出しを行い、必要な教材等の提供を行った。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>④町づくり学体験学習</td><td>小・中学校とも、各学年でそれぞれのテーマに沿ったふるさとキャリア教育を実施した。
<table>
<tr><td>小学１年生</td><td>藤里町の自然に親しもう（大野岱放牧場他）</td></tr>
<tr><td>小学２年生</td><td>藤里町のすてきを見つけよう（町内施設）</td></tr>
<tr><td>小学３年生</td><td>藤里町の名人から学ぼう（味噌づくり他）</td></tr>
<tr><td>小学４年生</td><td>白神山地の恵みを見つけよう（調査、ブナの木工品づくり他）</td></tr>
<tr><td>小学５年生</td><td>藤里町のおいしい特産品をアピールしよう（お弁当発案他）</td></tr>
<tr><td>小学６年生</td><td>藤里町の魅力を発信しよう（修学旅行での発信他）</td></tr>
<tr><td>中学１年生</td><td>ふるさとを活性化するために商品開発について考えよう（他市町村訪問他）</td></tr>
<tr><td>中学２年生</td><td>ふるさとを活性化するために商品を開発しよう（職場体験他）</td></tr>
<tr><td>中学３年生</td><td>ふるさとを活性化するために商品を開発し、発信しよう（県内マーケティング調査他）</td></tr>
</table></td><td>A</td></tr>
</table>

⑤成果の発表	１１月１５日（火）に小・中学校で校内発表会を行った。また、学校同士をオンラインで結び、発表会の様子を中継した。	A

（１１）現代的な課題

ア　重点目標

（１）環境問題や町づくりに関する講座・研修を通して人材・団体の育成を図る。

（２）国際理解においては、ALT、CIR の積極的な活用を通して学習機会の充実を図る。

（３）ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）に関心を持ち、考えるきっかけを提供する。

イ　令和４年度の重点施策

・学習情報提供の充実

・国際社会へ対応した人材の育成

ウ　事業及び評価

<table>
<tr><th>主な事務事業名</th><th>評価（結果・成果・課題等）</th><th>総合</th></tr>
<tr><td>①情報の収集</td><td>研修等に積極的に参加し、情報収集に努めるとともに、必要に応じ、関係団体に情報提供を行っている。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>②外国出身者等への支援</td><td>国際交流協会に対する補助金等を通じて活動を支援している。</td><td>A</td></tr>
<tr><td>③自主活動グループの育成と活動の支援</td><td>既存団体は、従来どおりの支援を行っている。
新規のグループの設立はないものの、今後も随時対処していく。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>④日本語教室</td><td>国際交流協会による日本語教室については、月２回、水曜日に実施し、運営を支援している。
<table>
<tr><th>実施年度</th><th>受講者</th></tr>
<tr><td>令和３年度</td><td>１名</td></tr>
<tr><td>令和４年度</td><td>２名</td></tr>
</table></td><td>A</td></tr>
</table>